

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.120

発行所：日本消化器がん検診学会
 関東甲信越支部
 〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-9-2
 東京都立がん検診センター
 消化器内科
 TEL / 042-321-0711
 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

第82回関東甲信越支部地方会を終えて	2
第14回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告	4

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会告	7
会長挨拶	8

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

超音波研修委員会

第26回初心者のための腹部超音波実技講習会	9
超音波セミナーご案内	10
超音波セミナーin新潟	11
超音波スクリーニング研修講演会2023東京	12

編集後記 山口和也	14
-----------------	----



「第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会」を終えて

飯田市立病院 岡庭信司

第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会（以下第82回地方会）は、「適切ながん検診を安全に提供する」をテーマに（図1）長野市で開催しました。第80回と第81回地方会は新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴いweb開催となっていたことから、第82回地方会は9月23日（土）24日（日）の2日間の現地開催としました。

図1 第82回地方会ポスター



図2 第82回地方会日程表

1日目 9月23日(土)		
第1会場 (アクティヴホール)	第2会場 (1125会議室)	第3会場 (1122会議室)
8:00-17:00 (140分) 上級消化器シンポジウム 胃がん検診における高齢者への精度と安全性の確保 司会：岡庭信司、見本真一 講師：小田幸二、種山智之、内田幸司、古清水孝工、渡山麻子 コメンテーター：藤松浩志	9:20-11:40 (140分) 一般講演① 司会：松本浩志 講師：松本浩志	9:20-11:40 (140分) 一般講演② 司会：松本浩志 講師：松本浩志
12:30-15:40 (140分) 胃がん検診における高齢者への精度と安全性の確保 司会：岡庭信司、見本真一 講師：小田幸二、種山智之、内田幸司、古清水孝工、渡山麻子 コメンテーター：藤松浩志	13:20-14:20 (60分) 教育講演① 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	13:20-14:20 (60分) 教育講演② 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司
16:00-17:00 (60分) イブニングセミナー 消化器がん検診の未来 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	15:10-15:50 (40分) 教育講演③ 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	15:10-15:50 (40分) 教育講演④ 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司
18:00-19:00 (60分) 閉会式 岡庭信司		
2日目 9月24日(日)		
第1会場 (アクティヴホール)	第2会場 (1125会議室)	第3会場 (1122会議室)
8:40-9:10 (30分) 一般講演① 司会：松本浩志 講師：松本浩志	8:40-9:10 (30分) 一般講演② 司会：松本浩志 講師：松本浩志	
9:20-10:50 (90分) 大腸がん検診の最新動向 司会：山口和也、柳本清隆 講師：山口和也、柳本清隆、高橋健一、津藤裕子	9:20-10:50 (90分) P&Sディスカッション 超高度検診判定マニュアル2021 司会：松本浩志、松本浩志 講師：松本浩志、松本浩志	9:20-10:50 (90分) P&Sディスカッション 超高度検診判定マニュアル2021 司会：松本浩志、松本浩志 講師：松本浩志、松本浩志
11:00-11:30 (30分) 教育講演① 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	11:40-12:30 (50分) ランチョンセミナー① LOGO EIDrを用いた肝臓癌の診断 司会：青木利雄 講師：青木利雄	11:40-12:30 (50分) ランチョンセミナー② LOGO EIDrを用いた肝臓癌の診断 司会：青木利雄 講師：青木利雄
12:40-13:10 (30分) 文庫講演 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	12:40-13:10 (30分) 文庫講演 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	12:40-13:10 (30分) 文庫講演 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司
13:20-15:00 (100分) 医療講演 消化器がん検診 司会：岡庭信司、下田祐一 講師：岡庭信司、下田祐一	13:20-15:00 (100分) 医療講演 消化器がん検診 司会：岡庭信司、下田祐一 講師：岡庭信司、下田祐一	13:20-15:00 (100分) 医療講演 消化器がん検診 司会：岡庭信司、下田祐一 講師：岡庭信司、下田祐一
15:10-15:50 (40分) 教育講演⑤ 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	15:10-15:50 (40分) 教育講演⑥ 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司	15:10-15:50 (40分) 教育講演⑦ 消化器がん検診の現状と今後の展望 司会：岡庭信司 講師：岡庭信司
18:00-19:00 (60分) 閉会式 岡庭信司		

1日目は午後からの開催となりましたが、第1会場では上部消化管シンポジウム（胃がん検診における高齢者への精度と安全性の調和 司会：増田英夫先生、見本真一先生）が企画され、第2会場は教育講演①（血流診断を有効に活用していますか？—肝臓・血管病変— 松本直樹先生）、教育講演②（適切な判定をするための超音波検査—膵臓— 比佐岳史先生）、教育講演③（適切な判定をするための超音波検査—胆嚢— 森秀明先生）が開催され、いずれも多くの方々にご参加頂きました。CANON メディカルシステムズ提供のイブニングセミナーでは、川崎医科大学の畠二郎先生に「消化管エコーのススメ」と題して、消化管のスクリーニングから腫瘍性疾患まで消化管エコーの有用性について分かりやすくご講演を頂き、超音波が専門ではない消化管領域のがん検診に従事されている先生方にも有益であったと思います。

2日目の第1会場は、一般演題に続き、大腸がん検診パネルディスカッション（安全な大腸内視鏡検診の実現に向けて 司会：山口和也先生、鈴木康元先生）が、午後にはX線・内視鏡合同症例検討会（司会：長浜隆司先生、下田裕一先生、依光展和先生）が行われました。第2会場も一般演題に引き続き、パネルディスカッション（超音波検診判定マニュアル2021撮像法を極める 司会：松本直樹先生、足立雅樹先生）が、午後からは超音波ザ・ベスト・イメージングコンテスト（司会・中村稔先生、山本美穂先生）とクイズセッション（チャレンジ・検診判定マニュアル2021 司会：渡邊幸信先生、岩田好隆先生）が行われました。いずれも熱心な討議がなされ、ご参加頂いた会員の皆さんにもご満足いただけたと思います。特に、クイズセッションは参加者がカテゴリー判定などを投票する双方向の企画としたため大変盛り上がりおりました。2日目の企業セミナーは、オリンパスマーケティング株式会社（青木利佳先生 胃がん検診に求められる基本的知識とトレンド）、GE ヘルスケア・ジャパン（小川眞広先生 LOGIQ E10xを用いた肝臓領域における基本画質と血流表示の基本）と、内視鏡検診と超音波検診に関する最新情報が提供され有益であったと思います。

第82回地方会は3年ぶりの現地開催となり、会長はじめ運営委員（会）も戸惑うことが多く、何かとご不便をおかけしたことかと存じますが、ご参加いただいた会員の皆様、プログラム委員の先生方、共催して頂いた医療施設ならびに企業の皆様、株式会社勁草書房の皆様のご支援によりどうか盛会裡に終えることができました。ここに心より感謝を申し上げ、学会報告といたします。ありがとうございました。

第14回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告

第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会において「第14回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催いたしました。本コンテストは昨年より再開しましたがWeb開催でしたので、現地開催は4年ぶりとなりました。久しぶりの現地開催ということで多数の応募をいただき、皆様のご協力のもと盛会裏に終了することができました。

ベストイメージングコンテストの発案者である岡庭先生の大会長ということで、地方会を盛りあげなくてはと、多くの方のご協力をいただき、岡庭先生の日頃のご活躍と人気も相まって、今回は過去最高の40症例もの応募をいただきました。

昨年はコロナ禍のため会場に集まったの投票は難しいため、1週間前から応募画像を地方会ホームページ上に公開し、Web投票の形式をとりましたが、これが意外と好評だったため、今回も同じ方法で事前に投票を行い、当日も応募症例を会場でプレゼンテーションを行ったあと、会場にてWeb投票を行い、すべての投票を合わせてベスト画像を決定しました。また今回はより多くの方に投票をしていただきたいと思い応募者にも投票をお願いしました。その結果75名219票の投票があり、最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞1点が決定しましたのでご報告いたします。

今回も応募された症例はどれも素晴らしく、一つの症例に票が集まることはなく全体に分散しており、各症例の得票数差もわずかなものでした。近年の超音波装置の性能向上は素晴らしく、目を見張るものがありますが、その性能を的確に使用し、病変を正しく描出する検査担当者のレベルの高さを感じられました。

また今回は関東甲信越以外の施設からも応募があり、広がりを感じられました。結果発表では、岡庭先生からサプライズで、各受賞者全員に著書の謹呈があり現地開催でしたので、直接受賞者にお渡しでき大いに盛り上がりました。

以下に受賞症例と得票数の多かった症例を紹介させていただきます。

応募して頂きました皆様および投票に参加して頂きました皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。次回も多数のご応募よろしくお願い致します。

井上胃腸内科クリニック 中村 稔
早期胃癌検診協会 山本 美穂

【最優秀賞】



術者：渡邊幸信

所属：日本大学医学部内科学系

消化器肝臓内科学分野

装置：GE Healthcare LOGIQ E10

周波数：9.0MHz

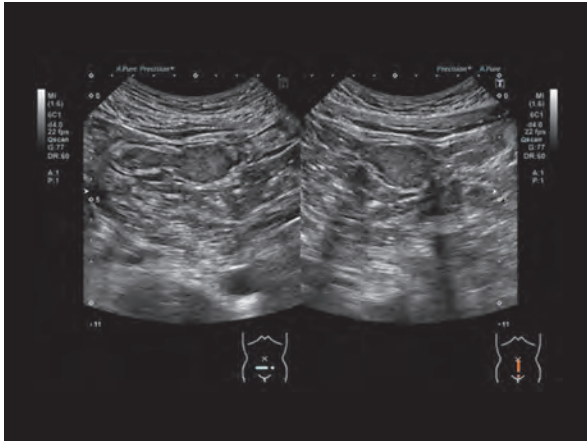
患者：50歳代 男性

診断名：上腸間膜動脈乖離

コメント（術者の一言）

上腸間膜動脈の全体像を描出しつつ、上腸間膜動脈内のFlap、偽腔と本腔の血流シグナルの分離が綺麗に描出できました。

【優秀賞】



術者：田實紗生

所属：大久保健診センター

装置：Canon Aplio i600

周波数：3.5MHz

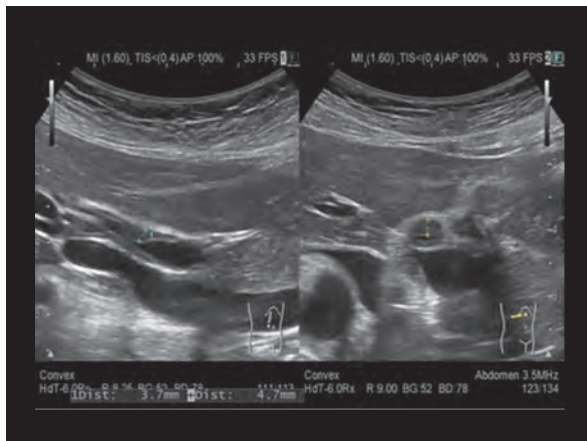
患者：50歳代 男性

診断名：早期 S 状結腸癌（粘膜内癌）

コメント（術者の一言）

健診超音波にて大腸内に50mm大の血流信号豊富な充実性腫瘍を認めました。過去5年便潜血陽性だったため、消化管の悪性病変を考慮し走査した結果、描出することが出来ました。壁の層構造は保たれており、これまで認識していた大腸癌のエコー像とは異なるものでした。精査結果と対比し、有茎性腫瘍で茎部と頭部が描出されたことがわかりました。有茎性の大腸癌のエコー像を知る良い機会になりました。

【特別賞】



術者：山崎直美

所属：医療法人順風会 順風会健診センター

装置：FUJIFILM ARIETTA 850

周波数：6.0MHz

患者：60歳代 女性

診断名：胆管腫瘍疑い

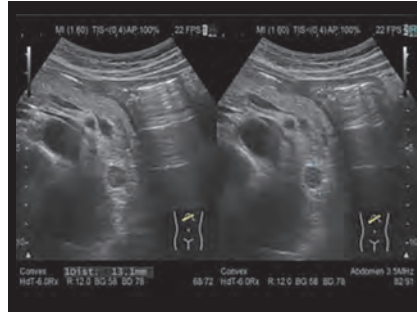
コメント（術者の一言）

胆嚢内はデブリが充満し、通常操作では確認ができませんでした。総肝管と胆嚢管及び下部胆管にかけて壁肥厚を認めました。粘膜面と層構造の不整を伴い、胆管壁外側の高エコーは保たれているものの、胆管腫瘍を疑いました。

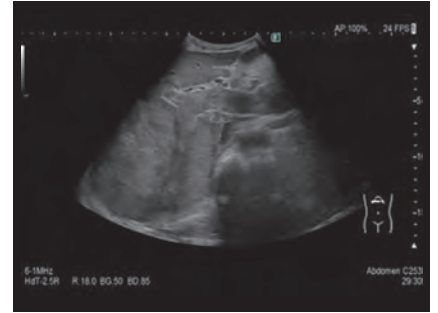
【高得票症例】



膵体部癌



副腎腫瘍
(原発性アルドステロン症)



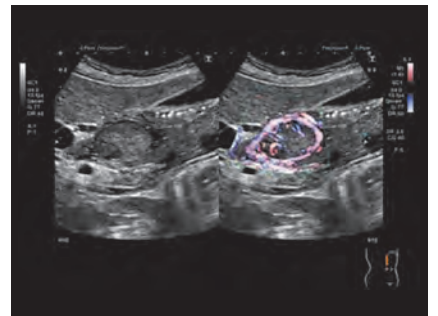
門脈腫瘍塞栓



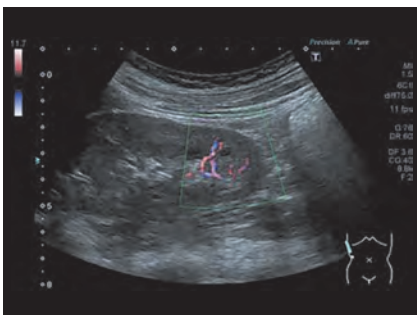
肝血管腫



ナットクラッカー現象疑い



膵内分泌腫瘍



腎細胞がん



膀胱癌



第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：安田 宏

(聖マリアンナ医科大学)

会 期：2024年9月15日(日)

会 場：川崎市コンベンションホール

〒211-0063

川崎市中原区小杉町2丁目276番地1

パークシティ武蔵小杉

ザ ガーデン タワーズイースト2階

TEL 044-455-6340 FAX 044-455-6341



第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会開催にあたって

消化器がん検診の進歩と実践

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会を2024年9月15日（日曜日）に川崎市コンベンションホールで開催させていただくことになりました。伝統ある本会のお世話をさせていただきますことを大変光栄に思いますと共に、大きな責任を感じております。

せっかくの秋の休日にご参加いただく皆様に満足いただけますよう、プログラム委員の方々から様々なご意見を頂戴しました。胃がん検診（X線・内視鏡）、大腸がん検診、超音波検診を3つの柱として、教育講演などをおり交ぜながら1日参加いただくと消化器がん検診の up-to-date を実感していただける構成を計画しております。「胃 X線・内視鏡検診」や、「大腸がん検診の二次精検受診率向上を目指した取り組み」についての主題を予定しています。

日進月歩の消化器がん検診の進歩と実践を学んでいただき、皆様の明日からの診療に必ずお役に立てると思います。

会場は東急・JR線武蔵小杉駅から徒歩5分にあり、東京・横浜からのアクセスも良好です。多くの皆様の来場をお待ちしております。

2024年10月吉日

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会会長
聖マリアンナ医科大学病院
消化器内科教授・内視鏡センター長
安田 宏



第26回 初心者のための腹部超音波検査実技講習会

超音波検査を始めたばかりの方や、これから超音波検査を行いたい方を対象とした講習会です。

少人数グループ制で、実際にプローブを握り実技を習得していただきます。

期 日 2024年2月10日（土曜日）午前9：00～午後4：30

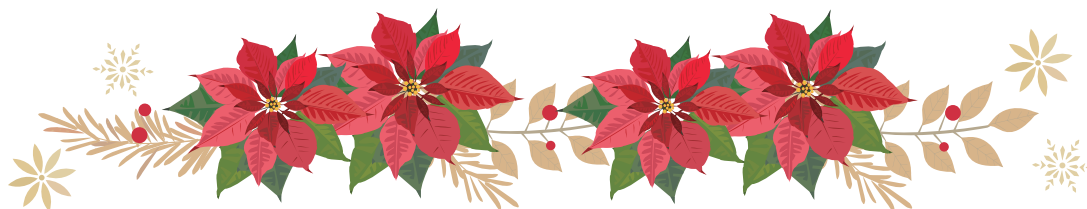
会 場 公立学校共済組合 関東中央病院 2階講堂

（東京都世田谷区上用賀6-25-1）

講習内容 テキストに従いグループごとに肝、胆、膵、脾、腎 の解剖や描出の基本手技およびポイントを、実際にプローブを握り習得していただきます。

講 師 岡庭 信司先生（飯田市立病院） 実技講師 超音波検査士

主 催 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会



第24回 超音波セミナー

期 日 2024年4月13日（土曜日）午後1：00～午後4：30

会 場 東医健保会館 大ホール

（東京都新宿区南元町4番地）

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

主 催 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

コロンフォート 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター[®] A240散

硫酸バリウム散99.5%「FSK」

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤

バリエース[®] 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

ジメチコン内用液2%「FSK」

（ジメチコン内用液）

■ 緩下剤

ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「FSK」

（ピコスルファートナトリウム錠）

■ 消化管X線造影剤

バリオゲン[®] HD

バリオゲン[®] デラックス

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター[®] 注腸散

取扱商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two**☆

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン（食物繊維として）入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**

マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

遠隔画像診断支援サービス

G.I.Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

伏見製薬株式会社
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801
名古屋営業所 / TEL 052-732-8555 大阪営業所 / TEL 06-6160-2431
中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

開催案内

第16回 超音波セミナー in 新潟

実行委員長 関根 厚雄(新潟労働衛生医学協会)

日時：2024年3月16日(土) 9:00~17:00 (受付開始 8:30)

会場：新潟県民会館 2階 小ホール 会議室

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13 ☎025-228-4481

参加費：セミナー : 会員(日本消化器がん検診学会)2,500円 (非会員)3,500円

ライブデモ・セミナー : 会員(日本消化器がん検診学会)5,000円 (非会員)6,000円

ハンズオン・セミナー : 会員(日本消化器がん検診学会)5,500円 (非会員)6,500円

プログラム

9:00~12:00 ハンズオン(初級者対象) 会場 第2-4 会議室

「腹部」 「乳腺」 「頸動脈」

10:00~12:00 ライブデモ(中級者対象) 会場 小ホール

「膵胆道系(予定)」 講師：岡庭 信司 先生(飯田市立病院 消化器科)

「肝臓・腎臓(予定)」 講師：川端 聡 先生(住友病院 臨床検査科・超音波センター)

12:00~13:00 休憩

13:00 実行委員長挨拶 関根 厚雄(新潟県労働衛生医学協会)

13:10~14:10 「急性腹症の超音波診断~パニック所見の取り扱いを含め~」

川端 聡 先生(住友病院 臨床検査科・超音波センター)

14:20~15:20 「胆管のスクリーニングを極める(仮)」

岡庭 信司 先生(飯田市立病院 消化器科)

15:30~16:30 「超音波画像と他の画像検査について(仮)」

塩路 和彦 先生(新潟県立がんセンター新潟病院 消化器内科)

16:30 閉会の辞

17:30 情報交換会 会場未定

申込方法は未定。Web登録予定です。消化器がん検診学会関東甲信越支部ホームページで詳細をお知らせします。

* 超音波検査士資格更新指定(出席5単位)出席単位は午後の講演に参加することにより付与となります。
新潟県臨床検査技師会生涯教育認定(専門教科10点)

主催：超音波セミナー in 新潟 実行委員会 共催：日本消化器がん検診学会 後援：新潟県臨床検査技師会
事務局：新潟県労働衛生医学協会プラーカ健康増進センター 小笠原 齋藤
〒950-0917新潟市中央区天神1-1 プラーカ3 5F TEL：(025)247-4101 FAX：(025)245-4104
メール：mi_ogasawara@niwell.or.jp

超音波スクリーニング研修講演会 2023 東京

～予後の良い癌を拾い上げるポイント～

- 会場参加、Web参加のどちらか一方をお申し込みください

会場参加

令和5年
12月16日(土)
10:20~16:10 開場9:50
浜離宮朝日ホール(小ホール)
東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2F
定員:250名(先着順)
ライブ配信は行いません

Web参加 (オンデマンド配信)

令和5年 令和6年
12月25日~2月29日まで
配信動画
講演4演題
ライブセミナー2演題
共催セミナー2演題

参加費

4,000円 (会場参加はオンデマンド視聴もできます)
クレジットカード決済・銀行振込 をお願いいたします。

申込期間

令和5年10月1日から 令和6年1月31日

申込方法

参加登録サイト または、超音波スクリーニングネットワーク
ホームページからお申し込みください
(裏面にQRコードがあります)

● 会場参加・Web参加とも、超音波検査士更新5単位が付与されます。

主催

特定非営利活動法人 **超音波スクリーニングネットワーク**

事務局 〒158-8531 東京都世田谷区上用賀6-25-1

公立学校共済組合 関東中央病院 超音波室

問合せ先(担当 大波) E-mail:office@us-screening.org

プログラム

テーマ：USスクリーニング … 予後の良い癌を拾い上げるポイント …

10：25～11：10	ライブセミナー1『腹部スクリーニングを行う基本とコツ』 講師：神宮 宇広明（公益財団法人 東京都予防医学協会） 座長：村松 純（関東ITソフトウェア健康保険組合 大久保健診センター）
11：20～12：05	テーマ講演1『胆道』 講師：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科） 座長：古賀 祥子（公立学校共済組合 関東中央病院）
ランチオン 12：30～13：15	ライブセミナー2『頸動脈および下肢静脈のスクリーニング』 講師：岩下 和広（飯田市立病院 放射線技術科） 座長：上原 信吾（JA 長野厚生連 佐久総合病院）
13：30～14：15	テーマ講演2『腎臓/膀胱』 講師：関口 隆三（医療法人社団 鳳凰会 フェニックスメディカルクリニック） 座長：丸山 勝（東京逓信病院）
14：25～15：10	テーマ講演3『肝臓』 講師：松本 直樹（日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野） 座長：幕田 倫子（福島県立医科大学附属病院）
15：25～16：10	テーマ講演4『膵臓』 講師：水口 安則（国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科） 座長：矢島 晴美（公益財団法人 東京都予防医学協会）

※ ランチオン（ライブセミナー2）でお弁当をお配りいたします。

共催ライブデモセミナー（オンデマンド配信のみ）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

演題：Aplio i-series / Prism Edition で「きみの膵臓を観たい」
… 膵を観るためのワンポイントアドバイス …

演者：水口 安則（国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科）

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

演題：こんなときどうする？ 超音波スクリーニング検査
… 効率的に精査に繋がる情報を引き出す技 …

演者：小川 眞広（日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野）

主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

共催：日本消化器がん検診学会 / 日本総合健診医学会

後援：日本超音波検査学会 / 全国労働衛生団体連合会 / 超音波検査法フォーラム / 東京超音波研究会

日本臨床衛生検査技師会 / 東京都臨床検査技師会 / 神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会 / 東京都診療放射線技師会 / 神奈川県放射線技師会

参加登録サイト

URL : <https://form.m-event.jp/form/34/us-screening2023>



特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク ホームページ

URL : <https://us-screening.org>



※ 参加登録は、ホームページからもお申し込みいただけます。

編集後記

今号はまず、第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の報告を、会長の岡庭信司先生に述べていただきました。第79回関東甲信越支部地方会以来の対面開催となりました。教育講演、パネルディスカッション、症例検討会、ザ・ベスト・イメージング・コンテストと伝統的な企画が予定通り開催されました。筆者は現地参加し、オンラインの画面越しでは伝えきれない、余白の部分と言いましょいか、熱気・雰囲気など対面の良さを実感しました。関東甲信越支部は広く、医療従事者の皆様ですから、県境を越えての学会参加が施設の方針でなかなか困難な方も多かったのだと思います。学会として、従来の対面式の研修会に加えて、オンライン形式の研修方法も検討中です。

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の日程と会場が決まりました。82回に引き続き現地開催予定です。

超音波研修委員会の、第26回初心者のための腹部超音波検査実技講習会、令和6年度第24回セミナー、第16回超音波セミナー in 新潟の日程が決まりました。従来通りの現地開催予定とのことです。

超音波スクリーニング研修講演会2023東京のご案内が届いています。会場参加とインターネットオンデマンド視聴が可能なハイブリッド開催です。

新型コロナウイルス、インフルエンザウイルスとうまくつきあっていこうという社会の雰囲気を感じます。コロナ前の検診受診率を超えて、さらに高める工夫をみんなで考えましょう。また、引き続き安全安心な検診をこころがけてください。

公益財団法人ちば県民保健予防財団
総合健診センター
山口和也

■編集委員会■

編集委員長	山口 和也	
編集委員	依光 展和	岡田 義和
	神宮司広明	山本 美穂
	石井 崇雄	渡邊 綾子

